



泉南中だより

平成30年3月

杉並区立泉南中学校
校長 風見 章

泉南中 HP

ご卒業おめでとうございます！

校長 風見 章

いよいよ卒業式が近づいてきました。私は今年度卒業する三年生と同級生！ 彼・彼女たちが入学する数日前に、校長として着任したばかり。新しい学校で迎える初めての新入生！ ということで緊張していたことを、つい昨日のように思い出します。

あれから3年間。あっという間でしたね。卒業されるみなさんも楽しかったこと、苦しかったこと、嬉しかったこと、悲しかったこと……様々な思い出が蘇ってきますよね？

みなさん一人一人は、この泉南中ではどんな思い出が一番残っているのかな？ 本当はそんなのも聞きたいのですが。

さあ、四月から新しい場所で、それぞれ頑張っていかなくてはなりません。希望と不安が交じり合う、という言葉がありますが、もしかしたら希望より不安の方が大きい人のほうが多いかな？ と思います。そりやそうです、どんな場所なのか？ どんな仲間がいるのか？ どんなことやるのか？ すべてが未知の世界。不安や怖さを感じるのは当たり前です。

でもね、日本中そんな人はたくさんいます。新しい学校へ入る新入生のみならず、社会全体が新しい組織で動き出します。ですから心配や不安は不要です。今まで泉南中で学んだことを自信につなげ、胸を張って新天地へ乗り込んでください。

さて、いきなり話は変わります。すでにご存知かと思いますが大リーグで活躍しているイチロー選手が、古巣のシアトルマリナーズで再びプレーすることが報じされました。日本だけでなく野球の本場であるアメリカ大リーグで数々の記録を樹立したイチロー選手。これから活躍が期待されますが、アメリカの地元新聞である「マイアミ・ヘラルド」が彼がいかにバットを大切に扱っているか？についての特集を組みました。



イチローは新しいバットが届くと、まずは握りを確かめバットを耳に当てながら手のひらで叩いて反響音を確認する。それによってバットの良し悪しを判断しバットケースに収める。そのケースの中には除湿剤が備え付けられており、バットを湿気から防いでいる。

またイチロー選手は四球などで出塁する際も、ほかのメジャーリーガーのようにバットを放り投げたりしない。優しくバットを横たえる。そして打てない時も怒りに任せてバットに八つ当たりすることは絶対にしない。

と、報じているそうです。さらに同紙は「もしかしたらバットは長年にわたり、彼から施された極限までのケアと注意に報いているのかも知れない」とも述べています。

ではイチロー選手はどう述べているか？ というと

バットは自分たちの商売道具です。このバットを作ってくれた人のことを考えたら、このバットを作るための労力を思えば、乱暴に扱うことはどれだけ無礼なことかわかるでしょう？ もしも乱暴に扱ったらみなさんのいい気分はしません。そして次から最高のバットを作ろうとは思わないでしょう。打てないからと言ってバットの責任にするのは間違っています。自分の技術に問題があるのです。バットはバットですから！！

この記事を読んだとき、あの世界のイチロー選手の活躍の秘密の一歩に触れたような気がしました

バット製作者と、野球という競技に敬意を払う姿勢もアメリカ人を感銘させているそうです。

アメリカ人のみならず、日頃何気なく生活している私たちも、扱う道具一つ一つに敬意を払っているか？ という振り返りをさせてもらったのです。

卒業生の皆さんはどう感じました？ これから新しい場所で「あなたを理解してもらう」場面が出てきます。それは言葉だけでなく行動面で理解してもらうことのほうが多いのです。どうか、一人一人が道具などの扱い方のみならず、すべての言動で考えていただきたいですね。

さて最後になりました。これから学校は新年度へ向けての準備を加速させていきます。保護者、地域の皆様には一年間大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

新年度四月に新しい体制で泉南中も船出します。

また新年度もよろしくお願ひいたします。



3月15日(木)卒業お祝いコンサート

土曜授業(オリパラ教育) 車いすバスケットボール 2月10日(土)

パラスポーツに触れ、競技の特性や障害のある選手への関心を高め、障害者との共生社会への参画意欲を高め、自分にできることを考える目的で、元シドニー・パラリンピック車いすバスケットボール日本代表主将を務めた、根本慎志さんにお越しいただき、講演と車いすバスケの体験をしました。障害を感じさせない軽妙な語り口にすっかり引き込まれ、障害者の困難克服の努力が分かるとともに、障害者の隔たりの意識がなくなりました。



新入生保護者説明会 2月10日(土)

平成30年度入学予定者の保護者説明会を行いました。当日は64名の出席でしたが、3月15日現在では、75名の入学予定です。中1ギャップ(35人学級)で3クラスの予定です。

3年普通救命講習 3月7日(水)

杉並消防署と消防団が20名程来てくださいり、AEDと心肺蘇生法の講習を3年生が受けました。終了後には、修了証を頂きました。ぜひ、どこかで実践しなければならない時があつたら恐れず命を助けてほしいと思います。



土曜授業(平和教育、地域清掃) 3月10日(土)

1時間目は、各学級で平和教育の勉強をしました。73年前のこの日は「東京大空襲」があり杉並区もかなりの被害を受けました。約2時間の空襲で10万人の命が奪われました。平和を願い平和な世の中をつくる意識を高めました。2・3時間目は地域に出ていき清掃活動をしました。1・2年6学級が6か所に分かれ町をきれいにしました。3年生は学校内の隅々をきれいにしてくれました。ありがとうございました。



卒業お祝い給食 3月14日(水)

3年生の中学校最後の給食でした。全員で多目的室でバイキング給食を味わいました。給食室も朝早くから準備ありがとうございました。



教育調査の集計結果

1月にお願いしました杉並区教育委員会「教育調査」アンケートの泉南中の集計が出来ましたのでご報告いたします。全て肯定率です。

1	(学校経営)子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。		
	1年	2年	3年
	保護者	80.3%	72.1%
2	(学校経営)連携する小・中学校による小中一貫教育(小・中の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進められている。		
	1年	2年	3年
	保護者	60.5%	64.7%
3	(学校経営)自校の教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。		
	1年	2年	3年
	保護者	52.6%	54.4%
4	(学級経営)安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。		
	1年	2年	3年
	保護者	84.2%	77.9%
5	(学習指導)授業を通して、分かることやできることが増えている。		
	1年	2年	3年
	保護者	65.8%	60.3%
6	(学習指導)学習状況を適正に評価している。		
	1年	2年	3年
	保護者	72.4%	64.7%
7	(学習指導)ICT機器(電子黒板やデジタル教科書等)を活用した授業を行っている。		
	1年	2年	3年
	保護者	56.6%	45.6%
8	(道徳教育)学校での生活を通して、他者と共によりよく生きるために力が育まれている。		
	1年	2年	3年
	保護者	68.4%	70.6%
9	(体育・健康教育)学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。		
	1年	2年	3年
	保護者	72.4%	70.6%
10	(特別支援教育)子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。		
	1年	2年	3年
	保護者	26.3%	30.9%
11	(地域と共に在る学校)学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。		
	1年	2年	3年
	保護者	64.5%	73.5%
	生徒		
	生徒	63.3%	48.1%

4月初めの予定

- 4月 6日(金)始業式、美化活動
- 4月 9日(月)入学式 10:00開式
- 4月 10日(火)給食始、クラス写真撮影他
- 4月 11日(水)歯科検診、個人写真撮影
- 4月 14日(土)土曜授業、保護者会